

【別紙2】各企業の目標水準値

各企業の目標水準及び実績値

口本日勤半工来云・口本日勤半半体工来
△

※独自に目標を設定している企業について、目標及び実績値を記載。

[illegible]

前年度からの変更点				
項目	年度	変更前	変更後	理由
1. 目標指標	2013年度	CO2排出量	←	
2. 目標水準	2013年度			
	2015年度			
	2021年度			
3. 前提条件	2013年度	電力排出係数発電端	電力排出係数受電端	
4. 想定しているBAT				
5. データの取扱	2013年度	生産金額	←	統計の継続性が維持できなくなったので従来から使用できる数値を用いることとした
6. 業界間バウンダリー		生産工程からでる CO2 排出量	左記+オフィス・研究 所	

※※上記 6 項目について変更が生じた場合は、変更年度と変更前後の情報、変更する理由を記載。前年度からの変更点のみならず、過去の変更情報がある場合、変更情報を累積して記載し、遡って確認できるようにすること。また、行は必要に応じて追加すること。

生産活動量、エネルギー消費量、エネルギー原単位、CO₂排出量、CO₂排出原単位の実績と見通し

○実績

[illegible]

○2020年度までの見通し及びBAU比削減量の想定

[illegible]

| 【備考】

※進捗率/達成率：2030年度の目標水準（基準年度からの削減幅）を100%として、目標水準と実績との比率。 進捗率/達成率【BAU目標】＝（当年度のBAU－当年度の実績水準）／（2030年度の目標水準）×100（％）

※想定比：当年度について予め想定した水準を100%として、想定水準と実績との比率。想定比【BAU目標】＝（当年度のBAU比削減実績）／（当該年度に想定したBAU比削減量）×100（％）

※カバー率実績（企業数）：カーボンニュートラル行動計画参加企業のうち、実績データに含まれる企業数（アンケート回答社数等）の団体加盟企業数に占める割合

[illegible]

実施した対策、投資額と削減効果										
	番号	対策名	対策内容	対策実施率	投資額		(年間)		(投資期間全体)	
					数量	単位	数量	単位	数量	単位
2021年度	1	エネルギー供給側の対策	低損失変圧器の採用等		1,782	百万円	4	千 k l		
	2	エネルギー使用側の対策	蒸気レス、エアレス化 等		5,613	百万円	11	千 k l		
	3	運用管理の改善	塗装工場の刷新 等		897	百万円	3	千 k l		
	4	その他	ライン統廃合 等		2,257	百万円	18	千 k l		
2022年度	1	エネルギー供給側の対策	太陽光発電、エアー漏れ削除 等		1,323	百万円	4	千 k l		
	2	エネルギー使用側の対策	蒸気レス、エアレス化 等		4,504	百万円	15	千 k l		
	3	運用管理の改善	塗装工場運用改善等		2,429	百万円	19	千 k l		
	4	ライン統廃合	設備運転条件適合、最適化 等		1,094	百万円	6	千 k l		
	5	その他	太陽光導入 等		294	百万円	12	千 k l		
2023年度以降	1	エネルギー供給側の対策	太陽光発電、エアー漏れ削除 等		2,575	百万円	3	千 k l		
	2	エネルギー使用側の対策	塗装ブース・乾燥炉効率改善 等		9,052	百万円	13	千 k l		
	3	運用管理の改善	塗装工場における運用改善 等		1,333	百万円	4	千 k l		
	4	ライン統廃合	生産ライン工程の見直し 等		2,158	百万円	4	千 k l		
	5	その他	太陽光導入 等		1,254	百万円	4	千 k l		
2024年度	1									
	2									
	3									
	4									
	5									

※ 1 業界として特に重要だと考えている対策を毎年度3～5つ程度記載。
※ 2 対策実施率は、業界内での対策の実施状況（最新設備の導入率等）を記載。
※ 3 2022年度実施の対策は必ず記入すること。

クレジット等活用実績																				
Gクレジット会計(参考)																				単位: t CO ₂
	2012年度まで	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	
クレジット取得量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
クレジット削減量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
G1ークレジット																				単位: t CO ₂
	2012年度まで	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	
取得量																				
削減量																				
GKMクレジット																				単位: t CO ₂
	2012年度まで	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	
取得量																				
削減量																				
G非化石由来(非化石電源・二次酸化炭素削減措置)																				単位: 上段(tWh)、下段(t CO ₂)
	2012年度まで	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	
非化石由来の量																				
非化石由来・二次酸化炭素削減措置										0.002546	0.002546									
年間平均削減率(t CO ₂ /tWh)																				

※非化石由来・二次酸化炭素削減措置量は、「非化石由来の量」÷「非化石由来の量」×「削減率」で算出する。

※削減率＝「削減した非化石由来の量」÷「削減した非化石由来の量」×100で算出する。

※削減率＝「削減した非化石由来の量」÷「削減した非化石由来の量」×100で算出する。

業務部門(本社等オフィス)の対策と削減効果							
	対策項目	削減効果					
		CO2削減量 (t-CO2/年)			エネルギー削減量 (MJ/年)		
		2022年度	2022年度まで	2023年度以降	2022年度	2022年度まで	2023年度以降
照明設備等	昼休み時などに消灯徹底化	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	退社時にはパソコンの電源OFFの徹底化	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	照明のインバーター化	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	高効率照明の導入	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	トイレ等の照明の人感センサー導入	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	照明の引き	0.00	0.00	0.00	0	0	0
空調設備	冷房温度を28度設定にする	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	暖房温度を20度設定にする	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	冷暖房開始時の外気取り入れの停止	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	空調機の外気導入量の削減	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	氷蓄熱式空調システムの導入	0.00	0.00	0.00	0	0	0
エネルギー	業務用高効率給湯器の導入	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	太陽光発電設備の導入	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	風力発電設備の導入	0.00	0.00	0.00	0	0	0
建物関係	窓ガラスの遮熱フィルム	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	エレベータ使用台数の削減	0.00	0.00	0.00	0	0	0
	自動販売機の夜間運転の停止	0.00	0.00	0.00	0	0	0